



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



 申良

新春名物市 「くしら二十三や市」

1月25日・26日の2日間、申良総合支所周辺の道路900mを歩行者天国にして「くしら二十三や市」が開催されました。江戸時代後期から続く二十三や市は、もともと正月用品の物々交換の場として旧暦の12月23日に始まったとされ、戦後一時途絶えていたのが、昭和27年から再開されました。

市では、九州各地・遠くは四国から植木や花木、刃物、陶器、衣類などが出店し、朝早くから品定めをする多くの買い物客で賑わいました。また、剣道大会や消防音楽隊パレードのほか、エイサー太鼓や歌謡ショー等も行われ、伝統ある行事を盛り上げました。

 吾平

春の訪れを告げる 「名物あいら木市祭」

1月11日・12日の2日間、吾平町麓の鶴戸神社前から吾平町商店街約300mを歩行者天国にして「名物あいら木市祭」が開催されました。

県内で一番早い木市として有名なあいら木市祭は、商店街の活性化と地域振興を目的に早春の風物詩として毎年行われているもの。

木市祭では、植木や苗木、地元農産加工グループの手作り加工品など地元商店街や市内外から約70店舗が出店。また、エイサー太鼓や、歌謡ショー、お楽しみ抽選会なども行われ、親子連れなど多くの買い物客でにぎわいました。





市庁舎前の 永田良吉氏胸像を修復

永田良吉氏（明治19年～昭和46年）は、旧大始良村出身の政治家で、衆議院議員や鹿屋市長などを歴任し、勲二等旭日重光章や旧鹿屋市初代名誉市民の称号を受けるなど、郷土の誇りとして市民に敬愛されています。この胸像は、昭和42年に彫刻家の中村晋也氏が制作したもので、長年の経年劣化により腐食が進んでいたため、このたび修復したものです。





社会教育の功労者を表彰

1月18日、市文化会館で社会教育の向上に寄与した個人・団体に社会教育功労者表彰が行われました。また、表彰式終了後に家庭教育講演会とPTA研究大会も開催されました。受賞者は次のとおり。
社会教育功労者＝下出水真由美氏（華道）、森山正幸氏（社会体育）、宮下恵子氏（青少年育成）
優良社会教育関係団体＝日本舞踊原田流、鹿屋市カヌー協会





県内の歴史文化と 自然を学ぶ

1月9日、リナシティかのやでシンポジウム「鹿児島県の歴史文化と多様な生きものたち」が開催されました。これは、地域の生物多様性を再発見し、自然資源を地域づくりに結びつけることを目的に行われたもの。基調講演では、志学館大学の原口泉教授が、歴史文化と自然との関わりを話されるなど、参加者は生物多様性地域戦略について熱心に学んでいました。